

議会からのたより



主な記事

- ◆議会の主な動き ◆第4回議会定例会 ◆第3回議会臨時会
- ◆町長からの行政報告 ◆一般質問 ◆道町村議会議長会表彰
- ◆町村議会議員研修会 ◆人吉市議会行政視察 ◆議員出席状況
- ◆遠別イーグルス激励 ◆あとがき

発行：遠別町議会

編集：議会報発行特別委員会

議会の主な動き

(H30.5月～H30.7月まで)

- 5月10日 管内町村議会議長会定期総会出席のため議長苫前町に出張
- 5月15日 留萌地域総合開発期成会定期総会出席のため議長天塩町に出張
- 遠別商工会通常総会・永年勤続優良従業員表彰式に副議長出席
- 5月23日 第7回議会全員協議会開催
- 第9回議会改革検討特別委員会開催
- 5月24日～25日 北海道町村議会議長会理事会出席のため議長札幌市に出張
- 5月27日 遠別町消防団春季消防演習に議長外議員多数出席
- 5月27日～29日 全国町村議会議長・副議長研修会出席のため副議長東京都に出張
- 5月30日 遠別町植樹祭に議長外議員多数出席
- 6月1日 第3回議会運営委員会開催
- 第8回議会全員協議会開催
- 6月12日～13日 北海道町村議会議長会第69回定期総会及び研修会出席のため議長札幌市に出張
- 6月14日 遠別町・天塩町共同畜場地鎮祭に議長、副議長、総務産業常任委員長、文教厚生常任委員長出席
- 6月15日 第9回議会全員協議会開催
- 6月18日～19日 留萌地域総合開発期成会臨時総会及び札幌要望のため議長留萌市・札幌市に出張
- 6月20日 遠別町交通安全推進協議会総会に議長出席
- 6月24日～26日 留萌地域総合開発期成会中央要望のため議長東京都に出張
- 6月27日 一般道道名寄遠別線建設促進期成会定期総会出席のため議長及び総務産業常任委員長幌加内町に出張
- 7月1日 陸上自衛隊留萌駐屯地創立65周年記念行事出席のため議長留萌市に出張
- 7月3日～4日 北海道町村議会議員研修会出席のため議長外議員7名札幌市に出張
- 7月10日 第3回議会報発行特別委員会開催
- 7月17日 キャッスルガー市青少年訪問団歓迎レセプションに議長出席
- 7月22日 第26回さわかスポー祭り
- 7月24日 アクティブシニア多世代拠点交流センターオープンセレモニーに議長外議員多数出席
- 7月25日～27日 一般道道名寄遠別線建設促進期成会中央要望のため議長東京都に出張

第4回定例会 6月15日

主な審議事項

第4回定例会を6月15日から18日まで4日間を会期として開催し、報告2件、同意1件、条例の一部改正等5件、指定管理者の指定1件、工事請負契約の締結6件、補正予算2件、発議1件の合計18件の議案が提案され、原案通り可決し、会期を3日残して閉会した。一般質問については、山本議員、小森議員が行った。

報告

- ◆えんべつリゾート開発株式会社の経営状況について
- ◆繰越明許費繰越計算書について

同意

- ◆監査委員の選任について
- ・國部雅人氏（本町3）が再任された。

税条例の一部改正について

◆特別職の職員で非常勤のものものの報酬等に関する条例の一部改正について

指定管理者の指定

◆アクティブシニア多世代拠点交流センター指定管理者「社会福祉法人 遠別町社会福祉協議会」

工事請負契約の締結について 6件

- *工事名 公営住宅建設工事（建築主体工事）
契約金額 79,380千円
契約の相手方 株式会社 共栄
- *工事名 道の駅建設工事（建築主体工事）
契約金額 354,672千円
契約の相手方 共栄・ハラダ
特定建設工事共同企業体

主な補正予算

- *工事名 上架施設建設工事
契約金額 281,232千円
契約の相手方 日本ホイスト 株式会社
 - *工事名 道の駅建設工事（機械設備工事）
契約金額 101,412千円
契約の相手方 有限会社 後藤水道
 - *工事名 遠別浄化センター水処理2系増設工事（電機設備製作設置）
契約金額 77,760千円
契約の相手方 北海道三菱電機販売 株式会社
 - *工事名 上桟施設建設工事
契約金額 281,232千円
契約の相手方 日本ホイスト 株式会社
- 【一般会計】
- ・職員住宅解体工事 3,000千円新規
- 【下水道特別会計】
- ・特定環境保全公共下水道汚水管渠新設工事 5,000千円新規

第3回臨時会 5月23日

第3回臨時会を5月23日に開催し、報告3件、工事請負契約の締結4件、補正1件の合計8議案が提案され、原案通り可決しました。

主な審議事項

◆工事請負契約の締結について 4件

*工事名 遠別中波ラジオ中継局放送機更新工事

契約金額 138,240千円
契約の相手方 株式会社 三新

*工事名 遠別町・天塩町共同斎場建設工事(建築主体工事)

契約金額 345,060千円
契約の相手方 石山・共栄

*工事名 特定建設工事共同企業体
設工事(電気設備工事)

契約金額 73,224千円
契約の相手方 三村・木村

*工事名 特定建設工事共同企業体
設工事(火葬炉設備工事)

契約金額 81,000千円
契約の相手方 株式会社 宮本工業所

主な補正予算

【一般会計】

・中学校地下タンク油埋設配管取替工事
1,545千円新規
・生涯学習センター加圧給水ポンプ取替工事
2,100千円新規

町長からの行政報告(抜粋)



平成29年度各会計の決算概況について(総務課)

平成29年度各会計が5月31日出納閉鎖となりましたので、各会計の決算概況につきまして、ご報告申し上げます。平成29年度の決算につきましては、国保病院事業会計を除き、一般会計を含め、全6会計で決算剰余金は78,474千円となりました。

「6会計の決算剰余金は下記のとおり」

一般会計	39,336千円
(繰越明許費17,100千円含む)	
国民健康保険特別会計	25,731千円
後期高齢者医療特別会計	0千円
簡易水道特別会計	901千円
下水道特別会計	3,811千円
(繰越明許費1,000千円含む)	
介護保険特別会計	8,695千円

会計処理が地方公営企業法適用の国保病院事業会計は12,029千円の赤字となりました。

今後とも、経常経費の二層の節減や財政の健全化を図るとともに、施策の取捨選択を進めながら、より効率的な行財政運営に努めていきたいと考えております。

税・保険料等の

収納状況について(住民課)

税・保険料の徴収については、それぞれの担当課において、完納を目指して努力をしてきたところでありますが、この度、5月31日出納閉鎖となり、平成29年度現年度の個人町民税、法人町民税、国民健康保険税、軽自動車税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、住宅使用料、「きらり」の保育料であります児童福祉費負担金及び学校給食費負担金について、完納となりましたので、ご報告申し上げます。

特に、個人町民税及び国民健康保険税が2年連続で完納になったことについては、担当課の努力はもちろんのことですが、平成28年度の完納により、町民の納税意識が一層高くなった結果であると思っております。

滞納繰越についても個人町民税、国民健康保険税及び住宅使用料が昨年に比べると着実に未納繰越額が減少しております。

今後も税・保険料等の徴収につきましては引き続き、完納を目指して努力をしていきたいと考えております。



水道料検針の誤りについて(経済課)

本年5月の水道料検針後に、水道検針値の入力誤りが判明した事案がありました。これは、検針員が検針する順番を誤り、2件の検針値が入れ替わったものです。

調査の結果、平成29年5月検針時からのものであることが判明し、当事者の方々にお詫びと事情を説明し、過納額は返納し、不足額は追加で納付いただくように事務処理いたしました。

今後は、検針員への指導を徹底し、町民の皆様から不信感をいだかれることがないように再発防止に努めて参りたいと思っております。

6月定例会
「一般質問」



独居高齢者の

安心対策について

Q【山本議員】 以前、私は独居高齢者の生活上の不安について、進言したことがある。

平均寿命が延びている今、遠別町でもさまざまな支援が必要な一人暮らしの高齢者世帯が増えている。昨年、町民大学第3講座で北海道新聞社生活編集部委員の福田淳一氏は、講演の中で、今は、非常に元気な高齢者が多いが、問題なのは高齢者が社会から孤立すること、地域とのつながりが薄くなり、親族や親しい友人が少ないと話されていた。

遠別町でも、見守りや電話での確認などを行ってきたが、家の中に引きこもりになりがちな高齢者の方の外に出る機会を少しでも多く作

つていくことが大切であり、求められているのではないかと。やはり、町と地域の住民が一体となって高齢者の支援をしていくことが、暮らしやすく快適な町づくりではないかと思う。一人暮らしのお年寄りが生活をしていくうえで何が不安要因なのかをよく分析して、実現できる施策から積極的に取り組むことが必要ではないかと思う。

そこで、次の3点について、町長に質問する。

1点目は、独居高齢者の世帯数の推移をどのように分析しているのか。

2点目は、高齢者の方に生きがいを持って過ごしていただくために、イベントなどへの積極的な参加を後押しするような施策を充実させていくべきと思う。

3点目は、社会的に孤立が心配される独居高齢者対策として、自ら助けを求めることができない、また、声を上げることができない一人暮らしの高齢者の方への訪問調査の実施など、地域に足を踏み出し、手を差し伸べる取り組みを推進するべきと考える。

以上、3点について町長の考えを伺う。



A【笹川町長】

1点目の独居高齢者の世帯数の推移、分析については、包括支援係が中心に実態を把握しており、65歳以上の独居高齢者の世帯数は、5年間の平成25年3月末現在で140世帯で全世帯に占める割合は10・0%、平成30年5月末現在で173世帯で33世帯の増で全世帯数に占める割合は12・9%となっている。このようなことから、独居高齢者の世帯数については大きな変化はなく緩やかな上昇程度と考えているが、全世帯数に占める割合は、人口、世帯数の減により、増加することが見込まれる。

2点目の高齢者の方にイベントへの積極的な参加を後押しするような施策については、これまで、敬老会、いきいき交流事業、地域支え合いサロン事業などの催事の

他、交流機会の拡大を図る目的として、満65歳以上を対象に高齢者温泉入浴券交付事業、高齢者の方の積極的な社会参加を助長することを目的に、満70歳以上を対象に高齢者交通費助成事業を行っている。今年からは、高齢者の福祉増進及び交流機会の拡大と福祉の増進を目的に設置されたアクティブシニア多世代拠点交流センターが新たな交流の場となるものと考えている。

3点目の独居高齢者対策として訪問調査の実施、手を差し伸べる取り組みの推進については、高齢者の実態把握のため、介護保険事業の中の地域支援事業で75歳以上の高齢者の方に基本チェックリストを配布し、運動機能や認知機能を確認しており、提出いただく際に社会参加の促しや日常生活を送る上での困りごとを聞き取りしている。また、提出いただけない方には家庭を訪問し、聞き取りを行っている。今後、きめ細やかな対応をし、社会福祉協議会と連携しながら、高齢者を支援することを含め、町民の皆様が一体となって暮らしやすく快適な町づくりを行っていききたいと考えている。

農業生産工程管理（GAP） の取り組みについて

Q【小森議員】 遠別農業高校のGAP取得に支援策を。

今、全国の農業高校が食の認証である国際基準のGAP（農業生産工程管理）認証取得に向けて、教育の一環として動き出している。今まで以上の安心安全な農産物の生産に、このGAP認証に知識のある農業担い手や農業後継者として、遠別農業高校から農業のグローバル化や経営刷新に対応できる、経営感覚を持ち合わせた人材育成を図り、育てるべきと考える。遠別農業高校のGAP認証取得に、町独自の支援策を講じるべきではないか。



A【笹川町長】

遠別農業高校の安心安全な農作物の生産とグローバル化に対応できる経営感覚を持ち合わせた人材育成への支援は、遠別農業高等学校教育振興会を通じて、富士見圃場が農林水産省に認められた有機野菜にのみ表示できる有機JAS認証取得にかかる経費を助成している。

GAP認証取得への支援については、帯広農業高校、岩見沢農業高校、旭川農業高校の道立高校3校において、道費で実施しており、遠別農業高校についても、道費で認証取得できるよう、高校、教育振興会、教育委員会とともに、北海道に要請していく。

再質問

Q【小森議員】 GAP認証制度について

も留萌管内農業者からも身近な情報発信に大きな期待を寄せられているのが遠別農業高校であり、GAP認証取得後も毎年の書類審査などにおける経費の負担や新たな課題に支援が必要になる。

管内農業の発展に遠別町として遠別農業高校にGAP認証取得後も継続的な支援策を作成しておくべきではないか。

A【笹川町長】

地域全体の農業者、引いてみれば地域全体の人達がそのGAPについての認識を持っていただかないとなかなか進まないと考え、高校に対する支援についてはまた別な時点で、前向きに捉えさせていただきたいと思っている。



農業生産工程管理（GAP）とは

GAP（Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理）とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのことです。

多くの農業者等が取り入れることにより、結果として持続可能性の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化に資するとともに、消費者等の信頼の確保が期待されます。

北海道町村議会議長会表彰

6月12日開催の北海道町村議会議長会第69回定期総会において、北海道町村議会議長会表彰規程に基づく、平成30年自治功労者として、「町村議会議長として7年以上在職」の西畑広男議長と「議会議員として15年以上在職」の寺崎邦昭議員が表彰され、6月15日開催の第4回議会定例会に先立ち、議場において表彰状の伝達を行った。



熊本県人吉市議会行政視察

7月5日、熊本県人吉市議会、市民クラブ会長西信八郎氏外2名が「ふるさと納税で魅力ある農業学校づくり」を行政視察テーマとして来町した。

役場3階委員会室において西畑議長、笹川町長の歓迎あいさつの後、ふるさと納税担当、稗田企画振興係長より、説明を行った。視察の最後には遠別農業高校を視察し、「この研修で得たことを市政に反映できるよう努力していきたい」と話されていた。



北海道町村議会議員研修会

7月3日、平成30年度北海道町村議会議員研修会が札幌コンベンションセンターで開催され、歴史家・作家の加来耕三氏と日本大学法学部教授の岩井奉信氏が講演した。

加来耕三氏は「明治維新から150年、現在そして未来を考える」との演題で歴史学の話の中で立ち止まって物事を考える、現代の課題解決のヒントは歴史にあるなどと話され、岩井奉信氏は「現代日本政治と政局のゆくえ」との演題で安倍政権は続投できるのか、憲法改正を発議するのか、そのためには衆参の同日選挙も有り得るなどと話されていた。

写真【加来耕三氏】



全国大会出場 遠別イーグルス激励



7月19日、西畑議長と木村議員会会長が8月7日から8月10日にかけて、神奈川県、川崎市他で開催された「第38回全日本バレーボール小学生大会全国大会」に出場する遠別イーグルスの練習場（遠別小学校体育館）を訪れ、選手達を激励した。



えんべつの議会を 傍聴してみませんか

次の定例会は **9月中旬** の開催予定です。



詳しくは
テレビ電話で
ご確認ください。

【お問い合わせ】

議会事務局

電話 7-2147 (直通)

メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp

議員出席状況

平成30年5月1日～平成30年7月31日

区分 議員名	定例会・臨時会						常任委員会等			特別委員会			合計			出席率 (%) ⑥/⑤	
	出席内容		欠席内容		開 催 日 数 ①	出 席 日 数 計 ②	総 務 産 業 ③	文 教 厚 生 ④	議 会 運 営 ⑤	全 員 協 議 会 ⑥	議 会 報 発 行 ⑦	議 会 改 革 ⑧	予 算 審 査 ⑨	開 催 日 数 計 ⑩ +⑪ +⑫ +⑬ +⑭	出 席 日 数 計 ⑮ +⑯ +⑰ +⑱ +⑲		欠 席 日 数 計 ⑳
	全 日 出 席	遅 刻	早 退	慶 弔													
西畑 広男	2	2			2		5	5			5				7	7	100.0%
中村 光年	2	2			2		6	6			6				8	8	100.0%
山本 仁美	2	2			2		5	5			5				7	7	100.0%
柏谷 美春	2	2			2		5	5			5				7	7	100.0%
寺崎 邦昭	2	2			2		4	4			4				6	6	100.0%
木村 秀雄	2	2			2		4	4			4				6	6	100.0%
千葉 光悦	2	2			2		4	4			4				6	6	100.0%
大石 幸夫	2	2			2		4	4			4				6	6	100.0%
小森 嘉孝	2	2			2		6	6			6				8	8	100.0%

あしがき (中村 光年)

今年は、例年になく雪の多かった年で田植えの遅れが心配されましたが、4月後半の温暖により、田植えも順調に終わったようであり、雪の多い年は豊作との言い伝えがあり、秋の豊穡を期待するところであります。

平成29年度より建設中でありました高齢者の福祉施設及び幅広い世代の交流機会の拡大と福祉の増進を目的に設置された「アクティブシニア多世代拠点交流センター」も7月24日にオープンとなり、高齢者と幅広い世代との交流が図られることを願っております。

6月の定例会も終了し、「遠別町・天塩町共同斎場建設工事」、「道の駅建設工事」の工事請負契約の締結も議決され、人生終焉の場として、町民の皆様にご利用いただける斎場施設と、道の駅えんべつ富士見が活気づき、集客能力の高い施設としての完成を期するものであります。

これからも議会の広報紙として、議場での多くの議論の内容をわかりやすく町民の皆様にお知らせする広報紙としていきたいと思っております。

議会報発行特別委員会

委員長 中村 光年
副委員長 小森 嘉孝
委員 山本 仁美